

■ドイツ：ドイツ経済諮問委、非効率な再エネ導入支援策を酷評

ドイツの経済諮問委員会（通称、5賢人委員会）は2014年11月12日、同日に公表した年次報告書の中で、現在のドイツの再エネ導入支援策は非効率であると指摘した。特に問題視したのは、固定価格買取制度（FIT）などで再エネの種類ごとに支援額を決定し、いずれの再エネを利用しても再エネ発電事業者が利益を得られる仕組みを取っているため、最も効率的な発電技術の組み合わせが阻まれていること。2014年8月にはFITなどが規定される再エネ法（EEG）が改正されているが、発電技術ごとに個別に支援額を決めている点は従来どおりとなっている。同諮問委は、技術中立的かつ再エネ導入量が管理できる制度として、RPS制度の導入が望ましいとの見解を示した。ドイツ経済諮問委員会は連邦政府への経済政策等の諮問を目的として、5人の経済学者から成る組織。各委員は連邦政府の提案に基づき連邦大統領によって任命されている。